

みんなが暮らしやすいまちって、どんなまち？

市では、誰もが暮らしやすい社会を実現するため、障がいがある人への理解を広める活動に取り組んでいます。

障がいがある人とない人が平等に社会参加をするために、必要な変更や調整をすることを「合理的配慮」といいます。この機会に、「みんなが暮らしやすいまち」のために一人ひとりができることを考えてみましょう。

☎ 障がい福祉課 724・2147

FAX 050・3101・1653

町田市障がい者プラン21-26

「いのちの価値に優劣はない」という考えのもと、地域での暮らしを生涯にわたって支える仕組みを作ること、障がいへの理解を促進し、差別を無くすことを目標に策定された計画です。

また、市では2024年度に「(仮称)町田市障がい者差別解消条例」を施行するため、準備を進めています。計画の詳細は、市HP(右記二次元コード)をご覧ください。



町田市障がい者差別解消犬 ノンバリー



みんなにやさしい 合理的配慮 を実践しましょう

列に並ぶときは、点字ブロック(視覚障害者誘導用ブロック)をふさがないように並びましょう



ヘルプマークを付けている人が困っていたら「お困りですか?」と声を掛けてみましょう



会話をするときは、介助者や支援者、付き添いの人だけに話しかけず、本人に向けて話しましょう



耳が不自由な方や、聞き取りづらい方には、筆談で話すると伝わりやすくなります



ご相談ください

障がい者差別に関する相談先

▶ 町田市障がい福祉課
☎ 724・2147
FAX 050・3101・1653

▶ 東京都障害者権利擁護センター
☎ 03・5320・4223 FAX 03・5388・1413
(受付時間=祝休日を除く月~金曜日、午前9時~午後5時)

合理的配慮についてもっと知りたい人は、内閣府HPを見てみよう!



サポートが必要な目印です

日常生活や災害時に支援が必要な人の目印です。困っている人を見かけたときは、積極的に声を掛けて支援をお願いします。

ヘルプマーク

外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方が、配慮を必要としていることを知らせるマークです。ヘルプマークを身に付けている人を見かけた時は、思いやりのある行動を取りましょう。



災害時等障がい者支援バンダナ

災害時等に身に着けることで、周囲に障がいがあることを知らせ、避難行動などの際に支援を受けやすくするものです。災害時等にこのバンダナを身に付けている人を見かけたら、積極的に支援に協力しましょう。



4面でパラバドミントン インドネシア代表の町田市への訪問、6面で障害者週間の関連イベントについてご紹介しています

今、パラスポーツ が熱い!

市では、東京2020パラリンピックで話題となったパラバドミントンやブラインドサッカー等の競技を通して、パラアスリートとの交流の機会をつくるなど、パラスポーツの普及に関するさまざまな取り組みを行っています。

☎ スポーツ振興課 724・4036 FAX 050・3101・0488

パラバドミントン インドネシア代表



11月7日に開催された「パラバドミントン インドネシア代表選手交流会」では、インドネシア代表の皆さんが市内の皆さんと、質問コーナーや記念撮影などの交流を行いました。

ブラインドサッカー®元日本代表 寺西一選手

11月5日に開催された「野津田Greenフェスティバル2022」では、ブラインドサッカー体験会が行われ、寺西選手が登場しました。寺西選手は、ブラインドサッカー日本選手権に向け、「地元の人間として戻ってこられるように勝利をつかんでいきたい」と語られました。体験会の様子は、町田市公式動画チャンネルで公開しています。



町田市で ブラインドサッカー日本選手権決勝 が開催されます!

日程 2月11日(祝) 場所 市立総合体育館

詳細は同選手権HPをご覧ください。



今も未来も大切に
町田市のSDGs

